

サトイモ泉南中野早生から選抜した奄美向け有望系統「S05-19C」	分類	普及情報
〔要約〕泉南中野早生から系統選抜した、「S05-19C」は孫芋の着生が少ない子芋主体で、丸芋率、丸芋収量が高く、水晶症が発生が少なく、奄美地域の早掘り作型に有望である。		
大隅支場園芸作物研究室	連絡先	0994-62-2001

〔背景・ねらい〕

奄美地域のサトイモは石川早生丸を中心に栽培されているが、孫芋着生による水晶症の発生などの品質低下や調整出荷作業に多労を要し、栽培面積が減少している。

そこで、泉南中野早生の保存系統の中から孫芋の着生が少なく、子芋の肥大が優れ、丸芋が多く、子芋からの萌芽が少ない系統を選抜し生産安定に資する。

〔成果の内容・特徴〕

1 選抜経過

(1) 平成12年より泉南中野早生保存系統1,768株の中から系統選抜した。

2 系統の特性

「S05-19C」の特性は石川早生丸の原原種に比べて以下のとおりである。

- (1) 子芋からの萌芽が少なく、孫芋の着生数が少ない(表1)。
- (2) 子芋の肥大が優れる(表1)。
- (3) 丸芋率が高く、丸芋収量が多い(図1, 図2)。
- (4) 孫芋の着生が少ないので水晶症の発生が少ない(表2)。
- (5) 地上部の生育が優れる(表3)。

〔成果の活用面・留意点〕

- 1 普及対象地域は、奄美地域のサトイモ栽培地域である。
- 2 子芋主体の系統は、収穫が遅れると大芋になりやすいので適期収穫に努める。
- 3 自家採種を行う場合、丸芋で孫芋が少ない子芋主体の株を種芋として選抜する。
- 4 子芋主体の本品種の導入により、調整出荷作業時の孫芋除去作業が軽減される。

〔具体的なデータ〕

表1 地下部の生育及び丸芋率（平成18年度 大隅支場）

品種	系統名	親芋重 g	子芋				孫芋		
			個数 個/株	萌芽数 個/株	重量 g/株	1個重 g	個数 個/株	重量 g/株	1個重 g
泉南中野早生	S05-19C	158	7.3	2.8	177	24.2	1.8	12.8	7.1
石川早生丸	原原種	127	8.8	3.4	181	20.6	4.8	36.0	7.5

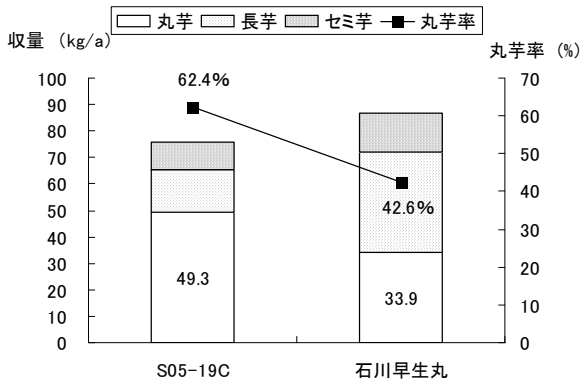


図1 丸芋収量（平成18年度 大隅支場）

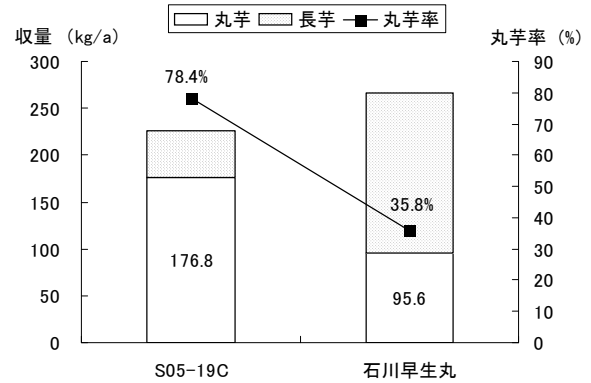


図2 丸芋収量（平成17年度 与論町）

表2 子芋の水晶症の発生率（与論町）

品種	系統	水晶症 発生率 %
泉南中野早生	S05-19C	1.8
石川早生丸	現地系統	17.9

注) 平成17年5月17日調査

表3 地上部の生育（平成18年度 大隅支場）

品種	系統	草丈 cm	葉柄長 cm	葉長 cm	葉幅 cm	葉の切込み cm	葉柄の太さ mm	葉数 枚	地上部重 g/株
泉南中野早生	S05-19C	130.9	105.1	47.4	34.3	14.2	18.9	6.7	965
石川早生丸	原原種	114.5	86.5	45.6	32.5	12.1	16.0	6.8	785

〔その他〕

研究課題名：サトイモの系統選抜による優良系統育成

予算区分：県単

研究期間：平成18年度（平成12～18年度）

発表論文等：平成12～17年度 農業試験場大隅支場野菜試験成績書（春夏作）

平成18年度 大隅支場野菜試験成績書（春夏作）